学校番号	1016

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校「言語文化」　（第一学習社）						
副教材等	記入して覚える　古典文法クリアノート（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・それぞれの時代の人々がどんなことを感じて、文章を書き記してきたのか。まずは興味をもって、古典の世界に臨むことを期待します。そして、そのために必要な読解方法等を丁寧に学んでいくことが大切であると思います。
・授業では内容の理解を目指す一方で、教科書で使われている言葉や優れた表現に出会い、それらを自分の表現に役立てることを意識してほしいと思います。
・授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、古文と現代文の違いを知り、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
　古典を通じて古人のものの見方・思想様式を学び、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。思考力を伸ばし適切な言語感覚を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】
　日本語表現の多様性を理解し、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。 伝統的な言語文化および言語の特徴や決まりなどについて理解し、知識を身につけている。	文章を的確に読み取り、多様な作品を幅広く読むことで、自分の考えを深めることができる。作品を通じて、豊かな感性を養うことができる。 相手や目的、意図に応じた適切な表現を自分で考えて文章で書き、自分の考えをまとめ、深めている。	言語文化に対する関心を深め、言葉の持つ価値への認識を深めようとしている。 言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話の面白さや人間描写の巧みさを読み取る。 ［教材］「児のそら寝」 「絵仏師良秀」	a：古典の世界に親しむために必要な、文語の決まりや古典特有の表現などについて理解することができる。 b［ 読 ］：文章の内容や展開などを的確に捉えるとともに、内容の解釈を深めることができる。 c：登場人物の立場について積極的に理解を深めようとし、自分の考えを確立しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	短歌の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。 ［教材］「その子二十」	a：短歌独特の表現と作歌背景知識を理解している。 b［ 書 ］：短歌の学習で得た知識を活用して、折句を用いた短歌を創作することができる。 c：豊かな感性を培い、文章から情景等をイメージしようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
二学期	漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 ［教材］「漁父之利」	a：「漁父之利」という言葉を理解している。漢文訓読の決まりを理解している。 b［ 読 ］：「漁父之利」の内容や構成などを捉えている。作者のものの見方、感じ方、考え方を理解している。 c：進んで寓話の特徴を理解し、学習の見通しを持って読み比べに取り組んでいる。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。 ［教材］「春はあけぼの」 「はしたなきもの」	a：『枕草子』の概要を理解している。 b［ 読 ］：作品の内容や解釈をふまえ、他社の意見と比較することで、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 c：作品中に取り上げられている例を自分たちのみに置き換え、どう感じるか話し合い、理解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
三学期	わが国の伝統行事について書かれた文章を読んで、内容を効果的に伝えるための筆者の工夫を理解する。 ［教材］「祭りの笛」	a：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b［ 書 ］：これまでの経験や見聞きしたことなどをもとに、文章の構成、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫することができる。 c：伝統文化の理解を深めようとしているとともに、自分の思いが伝わるようによりよいものにしようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ［教材］「芥川」 「筒井筒」	a：「伊勢物語」の概要を理解している。和歌の特徴的な表現技法とその効果について理解している。 b［ 読 ］：現代と異なる古典の恋愛・結婚観等の時代性を理解し、物語の内容を読み深めることができる。 c：『大和物語』と読み比べ、読後感にどのような違いがあるかなどを話し合い、理解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　６　）時間

・読むこと　…　（　６４　）時間